

イスラエル（パレスチナ）問題

～各宗教の関係からの考察～

2011年12月9日

黒川 峻佑

I.はじめに

II.パレスチナ問題の概要

III.各宗教の概要と関係性

III-1.ユダヤ教

III-2.イスラム教

III-3.キリスト教

IV.宗教面からパレスチナ問題へのアプローチ

V.おわりに

I.はじめに

私的な理由でキリスト教について学習していた際、その関連でユダヤ教やイスラム教についても関心を持った。深い歴史を有し多くの信仰を集めてきた一神教は、現代においても多くの人々を魅了している。しかしその魅力故か、歴史上多くの問題を抱えてきた。その枚挙にはいとまがないが、それらの中でも今回はイスラエル（パレスチナ）の問題をピックアップし、考えていきたいと思う。

II.パレスチナ問題の概要

- ・1948年、イスラエル建国宣言
- ・1948～1967年、中東戦争
- ・1978年、キャンプデービッド合意
- ・1987年、第1次インティファダ発生
- ・1993年、オスロ合意
- ・1995年、オスロII

- ・ 2000 年、第 2 次インテッファダ発生
- ・ 2005 年、パレスチナ自治政府の議長に穏健派アッバスが当選
- ・ 2009 年、イスラエル軍ガザに侵攻、停戦

Ⅲ.関係する各宗教の概要

Ⅲ-1.ユダヤ教

- ・ 全知全能の神 YHWH を信仰する一神教
- ・ イスラム教、キリスト教の祖
- ・ 救世主（メシア）信仰
- ・ 選民思想を有する
- ・ 生活上のルールを細かく規定する（モーセの十戒、律法）

Ⅲ-2.イスラム教

- ・ YHWH 信仰の一神教
- ・ 最後の預言者マホメット（ムハンマド）が創設
- ・ 聖典（コーラン）を有する
- ・ 生活上のルールを細かく規定する（六信五行）

Ⅲ-3.キリスト教

- ・ YHWH 信仰の一神教
- ・ イエス＝キリストも神として信仰する（三位一体説）
- ・ 聖典（聖書）を有する
- ・ 原罪の概念を有する

Ⅳ.宗教面からイスラエル（パレスチナ）問題へのアプローチ

Ⅳ-1.ユダヤ、イスラム、キリスト教の関係

- ・ いずれも唯一神 YHWH を信仰している
- ・ いずれも聖地をエルサレムとする
- ・ いずれもアブラハムが始祖である

- ・ユダヤ教とキリスト教は協調路線

IV-2.聖地エルサレムについて

- ・ユダヤ教、イスラム教、キリスト教の聖地
- ・ユダヤ教徒地区、イスラム教徒地区、キリスト教徒地区、アルメニア教徒地区に分割された旧市街地がある
- ・第3次中東戦争（1967）まで東西に分かれていた
- ・第3次中東戦争により、イスラエルが東エルサレムを占領（解放）
- ・イスラエルは首都としているが、国際的には認められていない

V.おわりに

今回、私は宗教を基にした勉強会を行いたいという思いからイスラエルの問題に着目した。当初から複雑そうな問題であるという印象は持っていたのだが、それは調べていく過程でより大きなものとなっていき、現在も迷走したままの状態での発表で申し訳なく思う。しかし、最終的に目指すものが平和であるということは確かなことだろう。その中東の平和に向けて、稚拙なものであるが私見を述べたい。私はイスラエルが譲歩すべきだと考える。現在のパレスチナ自治区から無条件で撤退し、パレスチナ人の人権を保障することで和平に向かう姿勢を示すことが重要だろう。さらに、ユダヤ教とキリスト教のように、多くの共通点を持つ一神教同士が互いに歩み寄れるような可能性もある。複雑で繊細な問題ではあるが、和平への道は閉ざされてはいないだろう。

最後に論点を挙げたい。

- ・イスラエルとパレスチナはどちらが譲歩すべきか
- ・宗教的な共通点が友好的に働くことがあり得るか

参考文献

井沢元彦『ユダヤ・キリスト・イスラム集中講座』徳間書店、2006年。

エドワード・W・サイード／杉田英明訳『パレスチナ問題』みすず書房、2004年。

笈川博一『物語エルサレムの歴史 旧約聖書以前からパレスチナ和平まで』中公新書、2010年。

立山良司『イスラエルとパレスチナ 和平への接点をさぐる』中公新書、1989年。

橋爪大三郎×大澤真幸『ふしぎなキリスト教』講談社現代新書、2011年。

船津靖『パレスチナ 聖地の紛争』中公新書、2011年。

参考 URL

外務省ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/israel/>(最終アクセス日 2011年12月8日)